

# 水まわりの進化 トイレ編

1990

デザイン



タンクと便器が別々の洗落とし便器が主流

1995



タンクと便器が密着したシャワートイレが登場

2000



シャワートイレとタンクの一体型が増えデザインもすっきり

2005



タンクがなくなってコンパクト+トイレ手洗のセットが主流に

2010



タンクレストイレのバリエーションも増えてさらに進化

2015



シックなノーブルブラック、上品なノーブルトープを追加しトイレをとっておきの空間へ

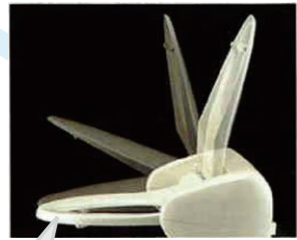
2020

機能



トイレの「臭い」を防ぐ脱臭機能が初登場

おしり洗浄とビデ洗浄が別々になって安心・清潔に



便座や便フタが自動で開閉できるなど便利な機能が登場し始める



抗菌仕様の便器が登場 汚れにくい便器へ



水アカを寄せ付けないプロガード加工が始まる



空気浄化機能が登場 ニオイを抑えて快適なトイレに



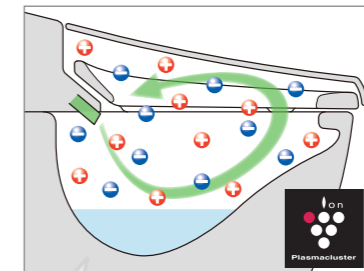
便器から音楽が流れる癒しの機能が登場



汚れが付きにくくお掃除ラクラクな機能が次々登場



お手持ちのスマートフォンがリモコンに



プラズマクラスターイオンが浮遊カビ菌や付着菌を除菌



従来品 アクアセラミック

AQUA CERAMIC

「ガンコな水アカ」も「汚物」もどちらも落とせる新素材の衛生陶器へ

男性立ち小用時の尿ハネを軽減する泡クッション機能が登場



洗浄水量

'89 13e

'98 10e

'01 8e

'06 6e

'09 5e

'11 4e